

第3次草津市環境基本計画 達成目標進捗調査票

資料2

◆調査票の構成について

【目標値】

・基本方針ごとに設定した達成目標にかかる各年度ごとの目標値を記載しています。
・本計画ではR8年度の間目標値とR14年度の最終目標値のみ設定しているため、他の年度は按分するなどして算出し、かっこ書き表示で記載しています。

【実績値】

・基本方針ごとに設定した達成目標にかかる各年度ごとの実績値を記載しています。

【R6年度成果】

・「R6年度目標値との比較」と「前年度(R5年度)との比較」について記載しています。

【R8年度目標達成に向けての課題および改善策】

・R6年度成果を踏まえ、本計画の中間年度であるR8年度での目標達成に向けての課題および改善策を記載しております。
・「市民1人当たり都市公園などの面積」は、「第3次草津市みどりの基本計画」と整合を図り、中間年度をR9年度に設定しているため、当該年度での目標達成に向けての課題および改善策を記載しております。

1. 環境について学び行動できる地域社会づくり

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R6年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
環境学習および活動の企画・実施サポート件数	件	環境政策課	目標値		(190)	(200)	(210)	(220)	240	300	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値220件に対して、R6年度実績値は143件となり、目標を達成できなかった。 R4年度以降におけるクリーンセンター内の貸室の縮小に伴う利用件数の減少や、環境学習教材の貸出について、利用者から好評をいただくものの、認知不足などにより伸び悩んでいることが要因として考えられる。	市HPやSNS等を活用した積極的な広報活動に努める。さらに環境への意識や関心を深め、環境学習・活動に取り組んでもらえるよう、講師派遣や貸出教材の充実とともに、ニーズに合った支援内容の充実を図る。
			実績値	113	165	135	139	143			【前年度との比較】 市HPの構成を工夫したほか、市HPでの環境関連イベントの紹介件数が増えたことにより、前年度実績より増加させることができた。 まちづくり協議会や小・中学校、公設児童育成クラブに対し環境学習イベントのチラシを配布するとともに、R6年度より小・中学校の教職員向けに貸出教材の展示会や環境学習に関する交流会を開催した。 新型コロナウイルス感染症の影響下における環境学習や活動の縮小傾向から概ね脱しつつあるが、教材貸出、講師派遣および活動支援は前年度と同程度であった。	
こども環境会議参加団体数	団体	環境政策課	目標値		(68)	(70)	(72)	(74)	78	90	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値74団体に対して、実績値は61団体となり、目標を達成できなかった。 新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準(R1:64団体)に戻りつつあるものの、休日における開催のため、小・中学校からの参加や地域活動の一環としての参加が減少傾向であることが要因として考えられる。	「こども環境会議」の参加者の意見などを踏まえ、開催日や内容、運営手法の検討を行うとともに、庁内外の類似イベントとの連携を検討する。また、事業所・団体・大学などの多種多様な参加が図れるよう、参加の呼びかけや積極的な広報活動を行う。
			実績値	0	46	52	52	61			【前年度との比較】 R5年度実績値52団体に対して、R6年度は61団体となり、参加団体数は9団体増加した。 R6年度より新たに小・中学校の教職員向けに環境学習に関する交流会を開催しており、各種イベントなど、あらゆる機会を通じて企業や団体に積極的に参加を呼び掛けたことが、増加の主な要因として考えられる。	

第3次草津市環境基本計画達成目標進捗調査票

2. 気候変動への対策(緩和と適応)

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R6年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
愛する地球のために 約束する協定者数	者	温暖化対策室	目標値		(55)	(60)	(65)	(70)	80	110	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値70件に対して、R6年度実績値は55団体となり、目標を達成できなかった。 関係機関と連携を図り、新たに協定を締結した事業者があったものの、協定内容のアピールだけではメリットが十分でない等の理由で協定解消を申し出る事業者もいたため目標には到達しなかったと考える。	R7年度より、協定締結者の施設を「再エネ促進区域」として位置づけることで、国の優遇措置等を受けていただけるようになったことから、これまで以上に市内事業者・団体と連携を図り、R8年度の目標達成に向けて新たに事業者と協定を締結していく。
			実績値	52	54	56	55	55			【前年度との比較】 前年度と比較して、増減はなかった。 新たに協定を締結した事業者はいたものの、協定内容のアピールだけではメリットが十分でない等の理由で協定解消を申し出た事業者がいたため増減がなかった。	
地球温暖化対策に 取り組む市民の割合	%	温暖化対策室	目標値		(40.3)	(42.3)	(44.3)	(46.3)	50.3	62.3	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値46.3%に対して、R6年度実績値は36.0%となり目標を達成することはできなかった。 各セミナー、イベントを通して普及啓発活動は行っていたが、より市民の方が興味・関心を持つような内容を企画する必要があると考える。	引き続き、市民の方々に向け、地球温暖化対策に関して普及啓発を行っていくとともに、R8年度目標達成に向け、各セミナー、イベントを企画していきたいと考える。
			実績値	38.3	37.0	36.6	35.9	36.0			【前年度との比較】 前年度と比較して、0.1%増加した結果となった。 増加したものの、上記の理由と同様に、より市民の方が興味・関心を持つようなセミナーやイベントを企画していく必要があると考える。	

3. 資源循環型社会の構築

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R6年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
1人1日当たりの家庭系ごみ量(集団回収量含む)	g/人・日	資源循環推進課	目標値		(553.5)	(546.2)	(534.4)	(519.2)	516.0	509.0	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値519.2gに対して、R6年度実績値は479.1gとなり、目標値を達成することができた。 主に、指定ごみ袋制度の変更や物価など景気変動による影響が考えられる。	「エコライフフェア草津」等のごみ問題を考える草津市民会議と連携した啓発事業や、ごみ分別アプリ等の媒体を通じて、引き続き、さらなるごみの減量や分別の徹底に向けた啓発を推進する。
			実績値	557.4	542.8	515.4	490.6	479.1			【前年度との比較】 R5年度実績値490.6gに対して、R6年度実績値は479.1gとなり、ごみ排出量は減少した。 主に、焼却ごみ類の排出量が減少したため。	
1人1日当たりの事業系ごみ量	g/人・日	資源循環推進課	目標値		(260.5)	(258.7)	(252.4)	(244.3)	244.3	244.3	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値244.3gに対して、R6年度実績値は234.8gとなり、目標値を達成することができた。 主に、ごみの減量・リサイクルに向けた事業者への訪問指導等により、事業系ごみ排出量が抑えられていることによるものと考えられる。	引き続き、排出事業者への減量指導を行うなど、ごみの発生抑制と再使用に向けた取組を進める。
			実績値	232.4	239.6	240.0	233.4	234.8			【前年度との比較】 R5年度実績値233.4gに対して、R6年度実績値は234.8gとなり、ごみ排出量は増加した。 R5.5.8に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に分類され、R6年度はさらにコロナ禍のダメージから回復したことより、事業系ごみ量が増加したものと考えられる。	

第3次草津市環境基本計画達成目標進捗調査票

4. 自然とともに生活する環境づくり

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R6年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
生物多様性保全対策での外来生物の捕獲数(対象:アライグマ、ハクビシン、ヌートリア)	頭	環境政策課	目標値		(85)	(90)	(95)	(100)	110	140	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値100頭に対して、R6年度実績値は77頭となった。 目標設定時に急増したヌートリア被害が現在はほとんど発生していないことが要因として考えられる。	市ホームページや広報、各種イベント等で外来生物に関する周知・啓発を積極的に行い、外来生物への認知度の向上を図る。 また、市内で外来生物の目撃情報や捕獲依頼があれば、速やかに適切な対応を行うことで、市域における生物多様性の保全に努める。
			実績値	62	30	37	60	77			【前年度との比較】 R5年度実績値60頭に対して、R6年度実績値は77頭となった。 各種イベントや媒体を通じての外来生物による生態系等への影響に関する周知・啓発により、外来生物の目撃情報が寄せられており、アライグマの捕獲頭数が増加傾向にある。 (R5:アライグマ37頭、ハクビシン3頭、 R6:アライグマ74頭、ハクビシン3頭)	
生物多様性保全の学習会への参加者数	者	環境政策課	目標値		(0)	(1)	(2)	(3)	5	10	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値3者に対して、実績値は6者となり、目標値を達成することができた。	重点事業「いきもの自然学校」の受講者が今後、主体的に環境学習の企画運営を行っていただけるよう促し、学習会の周知だけでなく、参加意欲を促進できるような案内に努める。
			実績値	0	0	2	3	6			【前年度との比較】 R5年度実績値3者に対して、R6年度実績値は6者となり、参加者数は増加した。 重点事業「いきもの自然学校」について、将来的に地域主体での運営に向けてOB・OGを中心とした運営を目指して積極的に取り組んでいただいていることや、比較的参加しやすい研修を中心に案内したことが要因として考えられる。	

5. 健全な生活環境の保全

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R6年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
河川の水質における環境管理基準(BOD)の達成状況	達成回数 ／ 調査回数	環境政策課	目標値		(24/24)	(24/24)	(24/24)	(24/24)	24/24	24/24	【令和6年度目標値との比較】・ R6年度目標値24に対して、R6年度実績値は17となり、目標を達成できなかった。・ 狼川と伊佐々川の2河川での調査のうち、狼川における基準超過(7回)によるもので、同上流での追加調査により、発生源が所在するエリアを絞り込みつつあるが、具体的な原因の特定には至っていない。	狼川上流の追加調査を継続して実施し、汚濁エリアの絞り込みや発生要因の特定に努め、環境管理基準(BOD)が達成できるよう対処する。 また、市内事業所に対しては、河川監視の強化や法令による規制の対象となる事業所の排水調査に取り組むとともに、規制の対象外の事業所に対しても、環境にやさしい事業活動や環境負荷の低減に関する啓発を行う。
			実績値	18/24	20/24	17/24	21/24	17/24			【前年度との比較】・ R5年度実績値21に対して、R6年度実績値は17となり、目標を達成できなかった。 狼川における環境管理基準(BOD)の達成状況の減少が主な要因であり、引き続き、対象河川の調査結果の動向を注視するとともに、狼川における追加調査を継続し、基準超過の原因の究明に努める。	
法令に基づいた指導件数	件	環境政策課	目標値		(31)	(30)	(29)	(28)	26	20	【令和6年度目標値との比較】 R6年度目標値28件に対して、R6年度実績値は9件となった。	事業所への立入を計画的に実施し、法令に基づく改善指導等を行うとともに、事業所に自発的な法令遵守の取組を促すべく、啓発を継続していく。 また、立入を実施した事業所数のうち、およそ半数が指導の対象となっているので、同じ事業所で指導事項が改善されずに何度も指導することがないよう、継続して立入を実施する。
			実績値	15	28	24	27	9			【前年度との比較】 R5に立入を実施した事業所数が52件であったのに対し、R6は事業所への立入の年間計画の見直しにより、対象事業所数を18件としたことが、指導件数の減少の主な要因である。	

第3次草津市環境基本計画達成目標進捗調査票

6. うるおい豊かな快適環境づくり

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R9※	R14	R6年度成果	R9※年度目標達成に向けての課題および改善策
市民1人当たり 都市公園などの面積	㎡/人	公園緑地課	目標値		(6.5)	(6.5)	(6.5)	(6.5)	6.7	6.9	【R6年度目標値との比較】 都市公園は1公園、児童遊園4公園を供用開始し、目標値6.5㎡/人に対して実績値は6.74㎡/人となり、第3次みどりの基本計画に基づき都市公園の整備を進めた結果、目標を達成することができた。	今後の情勢の変化に備え、オープンスペースの活用等の時代に合った施策の検討が必要となってきた。
			実績値	6.71	6.66	6.65	6.63	6.74			【前年度との比較】 R5年度実績値6.63㎡/人に対して、R6年度実績値は6.74㎡/人となり、市民1人当たり都市公園などの面積が増加した。 新たに供用を開始した都市公園の面積が大きいたが増加の要因だと考えられる。	
達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R6年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合	%	都市計画課	目標値		(22.0)	(23.1)	(24.2)	(25.3)	27.5	34.1	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値25.3%に対して、R6年度実績値は22.0%となり、目標達成には至らなかったが、R5年度の目標値および実績値との差(-4.7ポイント)からR6年度の目標値および実績値との差(-3.3ポイント)は改善した。 地域景観に対する注目度等に変化があったと推測される。	びわこ大津草津景観推進協議会で取り組む景観連携事業の中で湖岸の視点場のPRや東海道統一案内看板の普及に向けて市民等に啓発していく。
			実績値	20.9	19.0	17.3	19.5	22.0			【前年度との比較】 R5年度実績値19.5%に対して、R6年度実績値は22.0%となり、前年度から2.5ポイント増加した。景観づくりに関する啓発や大津市との景観連携事業を継続して進めてきた効果が少なからず現れたと考える。	

※「市民1人当たり都市公園などの面積」は、第3次草津市みどりの基本計画と整合を取り、R9年度に設定。